

小学校 1年 図画工作科

感じる
想像する

話す・聞く
書く

育成したい
国語力

思い付いたことを言葉にして伝える。
見たり聞いたり感じたりしたことから想像をふくらませる。
読み手を意識して、自分の気持ちやその場の様子を楽しく書く。

題材名 「つないで、つないで、まちをつくらう！」

題材の流れ

第1時

「つないで道をつくらう」

- ・新聞紙を破ったり、切ったり、それをつないだりして道をつくり、町づくりへの夢を広げる。

第2・3時(本時)

「自分たちの町にあつたらいいなと思うものをつくらう」

- ・つくりたい場所を選び、いろいろな材料を使って、つくりたいものをつくる。
- ・友達のつくったものとつないだり、あつたらいいな、行ってみたいと思う新しい道をつくらうたりして夢を広げる。

第4時

「できあがった町をたんけんしよう」

- ・道をたどって、できあがった町を探検し、おもしろい建物や工夫した表現を見付ける。

本時の目標

- ・できたものから発想を広げて新しい道をつくり夢を広げる。
【発想や構想の能力】
- ・様々な材料を使って、「あつたらいいな」と思うものを工夫してつくる。
【創造的な技能】

本時の流れ

導入

本時のめあての確認(一斉)

「じぶんたちの町に、『あつたらいいな』とおもうものをつないでつくらう！」

活動の流れを知る(一斉)

- ・第1時でつくった道を見て、自分がつくりたい場所を決める。
- ・いろいろな材料からつくりたいものを考える。
- ・思い付いたことを話す。
- ・つくりたいものをつくりながら、新たに思い付いたことを考えて話す。
- ・新しいものをどんどんつくる。
- ・活動を振り返ってみる。

展開

表現活動(個人・グループ)

- ・つくった道を基に自分がつくりたい場所を見付け、様々な材料を使って自分たちの町にあつたらいいなと思うものを作る。
思い付いたことを言葉にして話しながら活動する。
- ・つくりながら想像を広げ、新しい発想(さらにつくりたいもの)を話し合う。
- ・材料を工夫して使い、新しい道やつくりたいものをどんどん作る。

まとめ

振り返り(個別)

- ・ワークシート「こうしてまちができたんだよ」(手紙)を書いて振り返りをする。

国語力育成の視点

本題材は、「材料をもとにした楽しい造形活動」(造形遊び)です。活動の中で児童に試行錯誤させ、材料を扱いながら考え表現を工夫させることが大切です。

材料を手に取り(触る、角度を変えて見る、ちぎる、切る、並べる、重ねるなどをして材料とのかかわりを深め)児童が感じたり思い付いたことを言葉にして伝え、「感じる力」を育てます。また、見たり聞いたり感じたりすることで想像力を働かせ、新たな発想を呼び起こすようにします。

活動後の振り返りでは、読み手を意識して手紙を書き「想像する力」をはぐくみ、次の授業「できあがった町をたんけんしてみよう」(鑑賞)につないでいきます。

視点① 感じる力

場所や材料を通して思い付いたこと(考えたこと)を話しながらついたり、話を聞いて想像を広げたりしながら楽しく活動します。

「何を作っているのかな?」「すごい、どうして思い付いたのかな?」「これからどうなるのかな」などと語りかけることが大切です。

児童の考えたことや表現の工夫に共感することによって児童の活動を活発にし、深めていくように指導します。

視点② 想像する力

活動だけで終わらないよう振り返ります。町ができてきた経過を言葉で記録したり、読み手を意識して手紙に書きます。次の鑑賞の活動につなぐ材料にします。

ワークシート

こうしてまちができたんだよ!

わたしがえらんだところ

はじめにできたもの

くふうしたこと

もっとつくりたいもの

たんけんしてみつけてほしいこと

1年のみんなへ

より